

平成 28 年度

細菌検査精度管理クロスチェック参加説明書

一般社団法人 神戸食品微生物科学協会
精度管理委員会

この度は、平成 28 年度細菌検査精度管理クロスチェックにご参加いただき、
ありがとうございます。

本書は参加に際しての手順や注意事項をまとめたものです。

必ず事前に一読していただきますよう、お願い申し上げます。

【注意事項】

- (1) 技能評価証（個人別の評価）の申込者は、一般生菌数の細菌検査を3回繰返し、行って下さい
（3回行わなかった場合、技能評価証の発行は出来ません）
- (2) 細菌検査の結果報告は期日厳守でお願いします。
平成 29 年 2 月 6 日（月）必着
- (3) 配布試料の再送付はできませんので、取扱いには十分注意して下さい。
（試料がフタに付着するおそれがあります）
- (4) 検査は配布試料が到着した日のうちに行って下さい。

配布試料の到着予定日：平成 29 年 1 月 24 日発送、1 月 25 日着予定
（沖縄、九州、北海道は 1 月 26 日着予定）

問合せ先：精度管理 E-MAIL seido@kobe-biseibutsu.or.jp

結果発表：平成 29 年 3 月 10 日（金）

【目次】

- (1) 配布試料の開梱手順及び温度計測のお願い（2 頁）
- (2) 検査実施にあたって（3～4 頁）
- (3) 細菌検査の結果報告について（5～7 頁）

(1) 配布試料の開梱手順及び温度計測のお願い

【開梱手順】

配布試料は、発砲スチロール製容器に入れた状態で届きます。【写真1】

配布試料は、チャック付ポリ袋に緩衝材で覆った試料瓶（プラ製）と保冷剤が入っています。

手順1．到着した日と時刻を記録する。

手順2．容器のふたを開ける。【写真2】

手順3．ポリ袋を破かないよう、詰め物を取り除く。【写真3】

手順4．ポリ袋の封を少し開け、そこから温度計を差し込み、袋内の温度を計測、記録する。【写真4】

なお、保冷剤に接触しないよう、温度計の先をサンプル容器につけてください。

手順5．手順1の記録を帳票「一般生菌数結果表（1回目）」および「大腸菌群結果表（1回目）」の2.評価試料到着日と時刻の各欄（到着日、時刻、試料数）に記入する。

手順6．手順4の記録を帳票「一般生菌数結果表（1回目）」および「大腸菌群結果表（1回目）」の3.到着直後の評価試料の取扱いの欄（到着直後の梱包した箱の内部温度）に記入する。

手順7．検査開始前まで冷蔵庫に保管する（冷凍厳禁！！）



【写真1】



【写真2】



【写真3】



【写真4】

(2) 検査実施にあたって

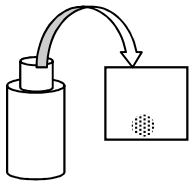
* 今年度の配布試料の注意事項

以下の事項は検査結果や評価に影響を及ぼすおそれがあるため、必ず読んでください。

- 1) 試料の再送付は出来ません。
- 2) 試料は40 g 程度
- 3) 試料の取扱いに十分注意！！（試料がフタに付着しているおそれあり）
- 4) 原則として受け取った当日に検査を開始！！

検査の実施(例) * 日常の検査方法で行ってください。

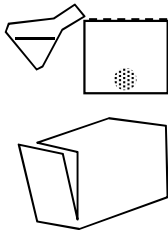
試料の調製



*以下、所定の細菌検査の注意事項を守る。

試料40 g の入った容器から10gを無菌的に採取し、
スタッカー袋に入れる。

滅菌希釈水



10倍希釈になるように、滅菌希釈水を入れる。

スタッカー(マスティケーター)にかける。

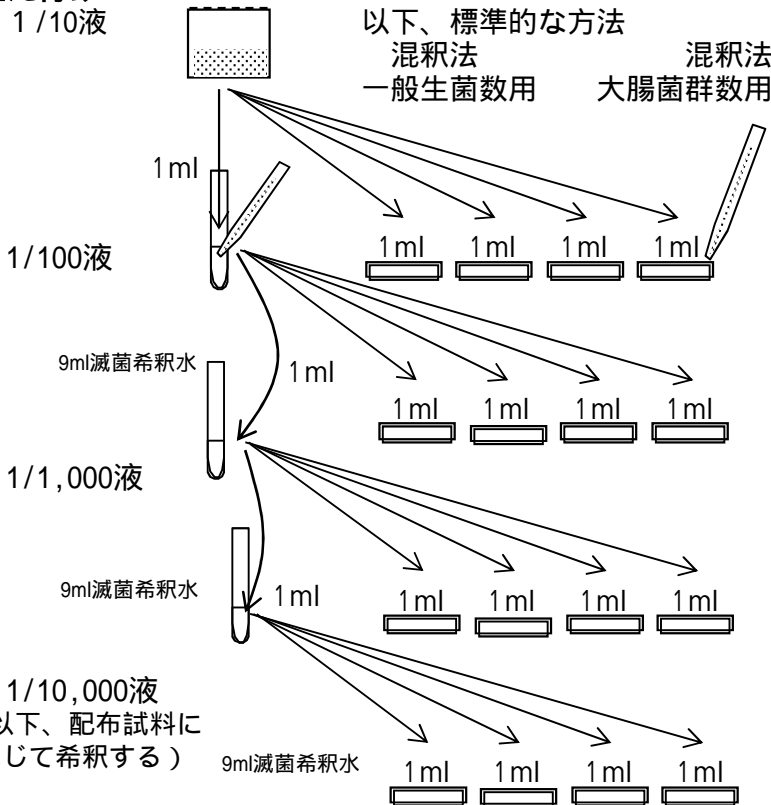
植え付け

1/10液

以下、標準的な方法

混釈法
一般生菌数用

混釈法
大腸菌群数用



ピペット系列で希釈する
滅菌シャーレに滴下する
よく混釈する

試料中の菌数が
 1.0×10^7 cfu/gを想定して
検査を実施して下さい。

培養

*各社使用の培地、試験方法で実施する。

コロニー数の測定

「一般生菌数」の注意事項

- ・上位者のダブルチェックをお願いします。
*過去に計算間違い、記載ミスなどが疑われる場合が散見されますので、結果を提出する際は、十分ご注意ください。

「大腸菌群」の注意事項

- ・寒天培地による検査を行った場合、検出されたコロニーの大きさ、色が明らかに違う場合は、それぞれに分けてカウントすることを推奨します。
デソ培地の場合：コロニーの大きさ（大小）
酵素基質培地の場合：コロニーの色（青色、赤紫色など）
- ・検出されたコロニーは、“陰性” 或いは “陽性” の判定も実施して下さい。

報告

- ・結果表の記載方法、帳票は、以下のホームページにて確認をお願いします。

一般社団法人 神戸食品微生物科学協会

<http://www.kobe-biseibutsu.or.jp/>

(3)細菌検査の結果報告について

注意事項

- 結果表の様式は変えないで下さい。
- 配布した帳票はExcelで作成、1シートにつき細菌検査1回分、3シート分用意しています。
- 以下のデータを添付して下さい。
 - 一般生菌数結果表
 - 大腸菌群結果表
 - アンケート
- クロスチェックの結果表の記載方法及び帳票は、(一社)神戸食品微生物科学協会のホームページに掲載しています。
<http://www.kobe-biseibutsu.or.jp/>
- 提出は、平成29年2月6日(金)厳守でお願いします

細菌検査終了後、以下の手順で精度管理 E-MAIL : seido@kobe-biseibutsu.or.jp まで細菌検査結果のご報告をお願いします。

手順 1 . 各結果表への記載

- (1) 色付けしたエクセルシートに記入する。
- (2) 試料 1 個分の結果 (一般生菌数、大腸菌群) を記載する。
- (3) (2)の結果を基に、『総合評価』シートに記載する。
*** 試料 1 個につき、総合評価 1 枚に記載。**
- (4) 確認 (記入漏れ、記入ミス、計算ミスなど) を行う。
- (5) ファイル名は [検査項目 + 検査者或いは代表者名] をつける
[一般生菌数の場合]
S P C + 検査者或いは代表者名
[大腸菌群の場合]
D X + 検査者或いは代表者名

手順 2 . アンケートの記載 (1 施設につき 1 回答)

- (1) 当てはまる解答欄の をクリックする。
- (2) の中に “レ” があるのを確認する。
- (3) ファイル名は [アンケート + 会社名] をつける

手順 3 . メール送信前の事前確認

以下の事項を確認して下さい。





社名、検査者は記載していますか？
菌数算定における計算間違い、記入漏れがありませんか？
上位者の結果確認を行いましたか？

手順 4 . 結果データの送付

次頁「メール送信見本」参照

- (1) 宛先の欄に seido@kobe-biseibutsu.or.jp を入力する。
- (2) 件名の欄に “クロスチェック (会社の名称)” を入力する。
- (3) メール文面の欄に、会社名、事業所或いは工場名、添付ファイル数を入力する。
- (4) 結果表およびアンケートのデータファイルを添付する。なお添付データが 2 MB 以上の場合は、2 回以上に分けて送信をお願いします。

[メール送信見本]

 送信(S)	宛先...	seido@kobe-biseibutsu.or.jp
	C C(C)...	
	件名(U)	クロスチェック (イカリ)
	添付ファイル(T)	 DX大谷.xls (260 KB);  SPC大谷.xls (225 KB);  アンケート (イカリ) .xls (124 KB)

一般社団法人
神戸食品微生物科学協会
精度管理委員会 様

- ① イカリ消毒株式会社
- ② なし
- ③ 3個

イカリ消毒株式会社
大谷 敏子
